

## 令和8年度 第1回 大阪市立塚本小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立塚本小学校

校長名 森 政人

日時	令和8年5月8日(金) 19:00～	
場所	塚本小学校1階ミーティングルーム	
出席者	委員など	角本ひとみ(会長) 川合昌壽(委員) 中野昌樹(委員) 間雅則(委員) 檀原光博(委員) 土井隆義(委員) 佐々木健仁(委員) 栗谷優子(委員)
	校園	森政人(校長) 高原法子(教頭) 今福雄介(教務主任)
	区役所	新宅 孝一(防災・防犯担当課長代理)
議題	(1) 運営に関する計画について (2) 学校の年間行事予定について	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) ○運営に関する計画について説明し、承認いただいた。	<p>学校の現状として、児童の生活態度は良好で落ち着いている。しかし、学力面、特に算数科において全国及び大阪市平均を下回る結果となっていることが課題である。これを受け、「安心・安全な教育の推進」「未来を切り開く学力・体力の向上」「学びを支える教育環境の充実(DXと働き方改革)」の3本柱を軸に中期目標・年度目標を策定した。</p> <p><b>【安心安全な教育の推進】</b> ○具体的にどんな内容? なかよしタイムとは? ・不登校などの課題に対して、担任一人で抱え込まず、学年・管理職・外部機関が連携する体制を構築する。また、淀川区の予算を活用した「スペシャルサポートルーム(淀川区版)」を設置し、不登校傾向の児童を支援していく。 ・外国人教育(多文化共生)、平和教育、仲間づくりの3つを軸に、各学年年3回、全校で18回以上の人権教育を実施していく。 ・なかよしタイムという特別支援学級の児童による自立活動を学年縦断的な交流を通して、年10回以上実施していく。</p> <p><b>【未来を切り開く学力・体力の向上】</b></p>

		<p>○具体的な内容は？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科を核とした研究への取り組みを進める。</li> <li>・問題文の内容を正確に理解し、根拠を明確にしながら答えを導き出す力を育てていく。</li> <li>・体力づくりカードの作成や、強化週間の設定、体育の授業時の最初の5分に強化する運動の時間の設定など、遊びや運動を通した体力づくりを行う。</li> </ul> <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○教育DXの推進は大切だと思うが、どのように進めていくのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSや生成AIの普及で、小学校4年生頃からスマホなどの所持率が増え、同時にトラブルも起こってくる傾向にある。そのため、4年生については、外部講師を活用した授業を実施する。また、他の学年については、道徳の時間や総合の時間を活用し、情報の発信が他者へ与える影響（悪口やいじめへの発展防止）について、発達段階に応じた指導を情報モラル教育の年間計画に基づいて実施していく。</li> </ul> <p>○児童間のトラブル（持ち物の破損等）において、トラブルの事実の報告の後、「どうされますか？」と先生に問いかけられたことがある。この問いかけに、「どうしたらいいの？」と逆に保護者が困惑や不信感を持ったというケースがある。トラブル対応の時間を減らすとあるが、どのような保護者への対応をしていくのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への伝え方のスキル（話術）が必要である。ベテラン教員や学年主任・管理職などとの事前の内容の共有と、電話連絡時の具体的なアドバイスを徹底し、組織としての対応力を高めていく必要がある。</li> </ul>
	<p>(2) ○学校の年間行事予定について、説明した。</p>	<p>○学習参観、運動会、作品展など大きな行事を中心に説明した。昨年度と違い、引き渡し訓練を平日に行い、土曜授業を11月の作品展の際に行うように変更していることも説明した。</p> <p>○地域の行事予定も聞かせていただいた。</p>
<p>協議資料</p>	<p>○令和8年度 運営に関する計画 ○令和8年度 年間行事予定</p>	
<p>備考</p>	<p>傍聴者[ 0 ]名</p>	